

あ・と・が・き

日高の軽種馬育成調教場は春先に雪・雨・低温に見舞われ、屋外馬場の整備作業等の遅れが懸念されましたが、芝・砂コースとも例年並の開場にこぎつけることができ、現在盛んに利用されております。また、利用者待望の屋内坂路馬場の300m延長が決まり、夏から工事にとりかかります、ご不便をおかけいたしますがご協力お願いします。

当センター第24期研修生が4月12日に21名入講、うち5名が女性で当研修開設以来最多と華やいでおります。今期は怪我・故障等の体調面を考慮して、訓練等は例年よりややゆっくり目にスタートし、徐々にペースを上げ、6月中旬には研修用走路から広いBTC調教施設での騎乗訓練が始まり、例年どおりの厳しい訓練へと移行しております。(Y.H.)

BTCの役員の人事異動が平成18年3月14日に行なわれましたのでお知らせいたします。挨拶文のように理事長に伊藤克己(前競走馬理化学研究所理事長)が就任し、前理事長の矢島俊夫は退任いたしました。

「サイエンティストからの提言」欄は馬ゲノム地図作成の日本代表を務めるJRA総研の長谷川氏にお願いして、1995年に各国の研究者が集まり、本格的に始まった馬ゲノム研究の現状と将来への展望を寄稿していただきました。ゲノムと聞くと難しいと思われがちですが、制限のある文字数のなかで、馬世界におけるゲノム研究についてわかりやすく解説していただいたつもりです。

「やさしい育成技術」欄はブレーキングについてです。方法については、人によって、馬によっていろいろあると思いますが、BTCで指導している方法を連載していく予定です。ブレーキングについて疑問や質問がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

「調査研究」の欄は子馬のX脚矯正法についてです。これはJRA平成17年度競走馬に関する調査研究発表会において口演された論文です。この方法は出生後の早い時期ほど有効性の高い矯正法ですが、蹄の成長に悪影響を及ぼすことも懸念されますので、この知識・技術に習熟した装蹄師の指導を受けましょう。(H.H.)